

# Worker's club news

発行場所  
 えちご上越農協労働組合書記局  
 〒943-0154  
 新潟県上越市稲田4丁目5-15  
 (えちご上越農協上越地域本部内)  
 Tel 025 (523) 9798  
 Fax 025 (523) 7733  
 mail nsj@af.wakwak.com  
 URL http://www.workers-club.com

## 上越のお米が静岡でどう売れているのか？ 労組で見てみよう！

10/23 第2回営農・販売事業検討会で、建設的な意見がたくさん出ました！

去る10月23日、ホテルハイマートを会場に第2回営農販売事業検討会が行われました。

この検討会は、今年の春闘時に、新潟県農協労連の提起を受けて、合併や施設・機構の集約・統廃合などが進む中で、改めて、今日の農協における効率化・路線が、職場や仕事を何をもたらししているのか、とりわけ農家組合員や地域との関わりで、どういつ問題を引き起こしているのか、を明らかにして、そのことを踏まえて、農家組合員と地域との新たな関係を築いていく、みんなが合意できる「農協」建て直しの運動を起していこうための入り口の運動として位置付けてきたものです。

3月には、営農・販売担当労組員のアンケート調査を実施し、その結果と各ブロックの10年くらい前の体制・仕事の変化を歴史的にまとめてもらい、3月20日には、第1回検討会を開催し、その後、ブロック別検討会を行いました。

### 1. アンケートの結果

① 数年間の変化の特徴 指導員が本店・営農センターに集約された 人員が削減された 営農と販売が一体化された 営農と販売が分離された 新しい施設が出来てそこに配置される職員が増えた 作目部会・生産部会が統合された

上記変化の中で特に仕事のすまぬ方々となった点、悪くなった点、上記変化の中で発生している問題は？

・これまでに比べて限られた農家との対応にならざるを得なくなった。  
 ・組合員の農協離れに十分な対応が取れなくなってきた。  
 ・必要なこともできなくなり、切り捨てざるを得なくなってきた。  
 ・現場に出て行く機会が少なくなってきた。

・地域の条件を検討して、対策を検討することが不十分になってきた。  
 ・農家との関わりの変化 農協離れが年々際立ってきている。何とかしなければとつい思いはあるが、何も出来ないまま見過ごされていく。



営農・販売事業の改革・改善方法 支店駐在・配置をはじめ、現場に密着した体制を確立していく。

・各事業が連携をとって対応ができる事業の仕組みを構築していく。  
 ・営農・販売事業を農協の事業の土台としての位置付けを明確化し強化していく。

・すべての農家、多様な生産・販売に対応できる人員と体制を確立していく  
 ・担当者会議の定例化など、十分相談して仕事を進めていける条件を拡充していく。  
 ・地域の農家組合員の状態を、より正確に把握し、それに基づき施策を検討していく。

### 2. 第1回検討会の報告

第1回営農・販売事業検討会 ② 02年3月20日(日)の開催。

・プロジェクトメンバーは、執行部+営農・販売担当の執行委員12人  
 ・アンケート結果の報告と各ブロックの合併を含む10年くらい前の営農・販売に関わる機構・人員体制・施設の変化を報告しました。また、データが不十分なので、ブロックごと、メンバーを上げて、より詳しく検討していく場を設けていくことを決めました。  
 ブロック別検討会の開催 (4月3~11日に4会場で開催)

## 活動報告

10月1日以降

- 10・12(土) ~ 13(日) 第1回労働組合セミナー (赤倉温泉「香嶽楼」)
- 10・15(火) 上越地区労連・第5回パート労働者交流会(上越市民プラザ第3会議室)
- 10・16(水) 新人事プロジェクトに関わる申し入れ書を提出
- 10・17(木) 農協労連・第1回単組代表者会議(サンライフ長岡)
- 10・19(土) 農業・農協問題研究所新潟県支部総会と研究会 (新潟市全農にいがた東中通第1ビル)
- 10・20(日) 県労連・賃金問題研究会(新潟市コミュニティふれあい白山)
- 10・21(月) 上越地区労連幹事会(市民プラザ第7会議室)
- 10・22(火) ~ 23(水) 全農協労連・甲信越地本委員会(山梨)
- 10・23(水) 営農販売第2回プロジェクト会議(ハイマート)
- 10・24(木) 県・単合同 全県未加盟労組・職組オルグ
- \*11・7(木) 秋期年末闘争 統一要求日 (要求書提出)
- 11・8(金) 農協労連・第3回中央執行委員会
- 11・9(土) ~ 10(日) 第19回にいがた自治体学校(小国町産業会館 宿泊:延命山荘)
- 11・13(水) 第4回執行部会(労組書記局)
- \*11・14(木) 秋期年末闘争 回答指定日
- 11・15(金) ~ 17(日) 第27回地域づくり農協づくり研究集会(蓬平温泉「よもやま館」)
- 11・20(水) 11・20関係機関要請行動(総合生協本部会館)
- 11・21(木) 第5回執行部会(労組事務所)
- 11・22(金) 頸南青年交流会(デュオ・セレッソ)
- 11・23(土) 上越地区労連・秋の学習会(ワークパル上越)
- 11・27(水) 系西地区労連 結成大会(糸魚川中央区会館)

### 各ブロックの営農・販売体制等の歴史的变化の特徴と、それに対する仲間の声

わかば H8年わかば合併 (3JA合併) 時、営農 本所は課長、補佐2人、指導員4人、支所駐在2人

H10年営農センターに、指導員1人 人物産館へ H13年合併時、センター長、指導員2.5人に激減。 目先の仕事でいっばいいっばいで指導員も集落ごとにやれなくなった。肥料・農薬推進と米の予約で集落出るだけ。指導は1の次。農業公社が技術指導している現状。この座談会で各営農もつと充実してくれと言われる。各行政からのクレームも強い。センター内部の話し合いがないのでデータ割りの弊害出ている。支店では、人員削減とタテ割り、春作業の応援も出せない。支店で月一回くらい話し合いをすべきだ (一方的な指示・報告だけでなく)。

### 頸北 H3年頸北合併 (5JA合併)

併) 時、営農 本所課長以下3人、支所5箇所指導員14人 H12年にセンター化、本所は課長以下9人、支所・拠点センター駐在5箇所7人 H13年合併時は駐在残した H14年センター完全集約、駐在廃止、指導員12人 (舎川担当含む)。  
 販売 H3年全体13~16人 H12年一本化、課長以下9人  
 センター化で顔を合わせやすい良い面もあるが、担当地区には、ほとんど行けないし、理想としては、旧JJAごとに営農と販売が一緒にいるのが一番良かった。対行政関係がすく悪くなった。合併して力あるんだからと仕事を押し付けられる。園芸の実績は旧JJA単位で担当者がいたのに集約され、生産から販売までかわらぬと実績が上がらない仕事なので大変。物流駐在の時は農家が立ち寄り行ったがセンターでは農家が寄らない。駐在の時は農家にも足を運べたがセンター集約になって仕事もきつくなり足を運べない実態で、携帯電話でとれどと解決するのが疑問だ。どここの集落懇談会でも、営農体制悪く

### 吉川

合併前 営農・販売・加工を7人前後で切り盛りしてきた H13年合併で支店駐在2人。しかし8月に指導員1人が上越異動。 H14年

なると苦情が多かった。本店・地域本部・支店の仕事の分担がはつきりさせきれなかったのが問題ではないか。本店に伺い上げて待つと待っているだけでもっと権限を現場に下ろしていかないといけない。ここ数年、新人を次々採用しているが全然育っていない。教育できる体制・システムを作っていないと人を育てられない。農家とじっくり相談して営農体制は、かまわなければならなかった。本店は若い職員集めておいて機能しない。本店の販売課は「統計情報事務所」のようなもの。H13年吉川大豆センター、H14年柿崎大豆センターできて、担当が張り付かざるを得ない体制で、作業に追われる毎日で何やってくるのか解らなくなる。販売事務2人でやらざるを得ない体制で担当は毎日残業で大変になっている。



某有名検索サイトで我らの"Worker's-Club"が掲載されました！

センター化 吾川地区全体で担当3人。加工センターは夕夕割り切りで切り離された。

頸南 H9頸南合併 (7JA合併)

時、営農本所営農担当10人、支所10人程度 H12営農部移転 (板倉) 営農担当集約、20人程度 H13合併時、営農担当16人 本店営農部に3人異動) H14営農担当15人 販売 H9販売担当11人、カントリー3基4人、各支所に販売担当配置 H12販売担当9人 H13倉庫担当集約、販売担当10人、カントリー4人、大豆・ソバセンター稼働、本店に3人異動。

営農も販売も本店に吸い上げられ、単純に人員減。本店とセンターの関係では、出荷契約と秋体制の2大イベントが何も変わらず本店の期待が裏切られた。本店の販売「費用」が見えない。農家は、センターまで出かけてこない。H14年は、頸南の支店長総入れ替えされて大変。中郷支店は地元職員がとつとつ1人になった。

H9年大合併後の変化 新井では、職員減と転作事務の増加で集落ごとの指導会が出来なくなり、回数減と集約化。販売 事務の統一化。園芸集出荷を業者対応にして、規格の統一化を進める。米は在庫管理のパソコン導入、小麦システム導入。買い取り販売の統一(細縄、わら細工、塩蔵、山菜、つけものなど)。「センター」化して、支店の協力が取れなくなつた。今年から支店に経済担当なくなつて、なおさらやりにくい。米の予約事務から始まり支店にお願いするのが大変 (支店も人減らされて大変)。

上越 H元年上越合併 (6JA合併)

併)時、営農本所4人、事業所・支所35人 H2年事業所 (旧上越市内3箇所)に館内支所の指導員集約 H6基幹支所 (旧6JAの本所)と地元

支所を統合。指導員32人 H10年上越市管内を北営農センター、三和・清里・牧の3村管内を東営農センターに集約。営農指導員から「営農係」に名称変更。32人。H11年本所営農振興課と2センターを統合。「営農係」24人に(管理職や別職種へ異動) H13年合併時、営農担当20人。

販売 H元年合併時、本所農産課10人、倉庫担当6地区10人、出庫協力各支所経済担当にもやつてもらつた体制 H3年に3事業所と三和の倉庫担当を本所集中 H5年倉庫担当の集中がうまくいかず元に戻す H8年直江津カントリー建設 倉庫担当6基幹支所1人ずつ6人 H10年倉庫担当5人 (うち4人は本所集中、牧1人) H11年本所倉庫担当1人中途退職3人に H12年大豆乾燥調整施設、無人化、汎用コンバイン等導入 H13年合併時、販売担当12人 (うち倉庫担当3人、名立販売1人) 営農指導員と倉庫担当の人員削減数大きい。特に、平成10年のセンター化構想で、集約される中で、極端に人員削減された。

3. これからの課題

第2回営農・販売事業検討会 (2002年10月23日)の開催 議論の中で、「集落営農、法人化の中で今後、どう地域の担い手を考えていくか?」「大豆との関わりで、小さな園芸がぶれてきたのでは?」「支店中心の営農体制が必要」「消費者とのかわりをつけていかないと、交流・視察もどうか?」「農協の支店・施設でお米売らないのはおかしい」「静岡のミカン産地で米がどう売れているのか?」「見ても地域の中でどう評価されているのか?」「団交で懇談会を持つていたらどうか?」「それがミカン推進にもつなげていくのではないか?」「米のデータを集めよう!」「園芸特産品のマップを作ろう!」「営農センター間の交流の場をつくらう!」「など、積極的な意見交換の場となりました。



最後に、プロダクト会議としての今後の課題を、合併で、営農や生活を発展させるどころか、むしろ壊してきた」と言える。人事・政策として、これらを一定整理して、人員増や体制の変更を政策化していく。農家の合意が得られるような政策をつくり、今後、団交の材料にしていく。プロダクトメンバーを中心に、地域営農や消費者との視察・交流など、1年に1回は、学べる活動を計画していく。農家の思いをつかんでいくために、「地域調査」を実施する。の3点にまとめて、2回目の会議を終了しました。

New face

新卒労組加入者8月以降

よろしく、お願いします!

荒井一寿 板倉支店



保坂大輔 津有北部支店



飯田幸恵 和田支店



労組員数: 701名(男412名 女289名) 11/30現在

結婚しました

増村(旧姓 浅野)美樹 子(矢代支店) 10月13日 / 妙高パインパレロイヤルホテル 丸山進(中郷支店) 10月14日 / やすね 丸山(旧姓 篠宮)綾子 (本店金融課) 10月14日 / やすね

やすね 小林一弘(ライフサービス) 10月20日 / 妙高パインパレロイヤルパインズホテル 中村光宏(共済課) 10月26日 / 妙高パインパレロイヤルパインズホテル 中嶋悟(頸南営農生活センター) 11月3日 / やすね

ほつと一息つきたい時に、温かいジンジャーミルク ティーはいかが? 鍋に水180cc、200ccを入れ、沸騰したら茶葉12g、18gと薄くスライスした生姜を1枚を加えます。さらに煮立ったら、ミルク200ccと砂糖をお好みに加えて沸騰直前まで煮ます。鍋の縁に小さな泡が立ってきたら、火を落とし、茶葉が開くまで蓋をして蒸しませます。茶漉しを使ってカップに注ぎます。カップは湯通しして温めておくのがコツです。(水とミルクの割合を変えて自分のお好みを探してみてください。)

これからの行事

- 12月 12・1(日) 介護保険考える集い (13:30 ~ 上越文化会館・大会議室) 12・7(土) 上越地区労連・定期大会 (14:00 ~ レインボーセンター) 10周年記念レセプション (17:00 ~ とりまん) 12・12(木) 県農協労連・地域調査学習会 12・13(金) 県農協労連・青年交流集会 (14:00 ~ 新潟市書記局) 12・14(土) 03国民春闘新潟県討論集会 (10:00 ~ 新潟市土地改良会館) 12・19(木) 県農協労連・単組代表者会議

編集後記

新人の1名です。農協・労組の活動については、これまであまり接したことがなかったため、まだまだ知らないことが多いのですが、皆さんの活動を側面から支えられるように、勉強していきたいと思えます。色々いたらない所が多い私ですがよろしくお願ひします。 11月前までは、暑さを感じていましたが、もう暖房器具がないと朝起きるのが辛い季節になりました。その寒さのせいか夕餉の食卓には煮込み料理が並ぶことが多くなりましたが、つい作りすぎてしまうことが多くて食べすぎてしまいかちです。 巨大馬肥ゆる秋、ならぬ 鍋つまく馬肥ゆる冬、と言ったところでしょうか。 皆さんも食べすぎにはお気を付けて。

Workers-club.com は皆さんの声で変身します

Workers-club.comでは、組合活動のお知らせや報告。皆さんからの質問に対する回答などの情報をできる限り速くお伝えします。また、単なる情報の発信だけではなく、皆さんからの声による情報の共有・交換を行えるように掲示板の設置を行っています。

情報・知識の共有交換から、また新たなアイデアが生まれます。そのアイデアや声によって、労働組合の活動のサポート 発展に力を添えられるwebサイトをめざしています。私たちのWorkers-club.comは、皆さんの声(ご意見、疑問、要望)で変わっていきます。

ホームページで取り上げて欲しい事柄や情報。要望をお寄せください。また、情報、ご意見・アイデアも一緒に募集しています。組合員のホームページのリンクや、紹介もしていきたいと思ひます。

お気軽にお問い合わせください。 JAえちご上越労働組合のホームページ「Workers-club.com」へお寄りください

homepage url : http://www.workers-club.com/ e-mail : union.news@workers-club.com e-mail : union.qa@workers-club.com